

肥育牛飼料への麦焼酎粕（液）添加による飼料費低減効果					
<p>[要約] 乳用種去勢牛に対して、肥育用混合飼料に<u>麦焼酎粕（液）</u>を30%添加して給与することにより、発育および枝肉成績が低下することなく、<u>飼料費</u>が約11%低減可能である。</p>					
担当部署	畜産研究所・大家畜部・肉用牛研究室			連絡先	092-925-5232
対象作目	肉用牛	専門項目	肥育	成果分類	技術改良

[背景・ねらい]

地域飼料資源の活用により肥育牛の飼料費を節減するため、県内で年間約36,000t産出されている焼酎粕のうち約85%を占める麦焼酎粕について、前回の肥育試験で給与期間を検討した結果、肥育全期間に給与可能であることが明らかとなった（平成11年度前期取りまとめ成果）。

そこで今回、良質肉生産に適した焼酎粕の給与技術を確立するために、乳用種肥育飼料への給与割合が養分摂取量、産肉性および収益性に及ぼす影響を明らかにする（要望機関名：両筑家保(H8)、築上普(H9)）。

[成果の内容・特徴]

1. 乳用種去勢牛に対して麦焼酎粕（液）を全肥育期間を通じ、給与混合飼料（TMR）現物中30%添加して給与した場合、乾物摂取量が減少する傾向があるものの、増体成績に大きな差は認められない（表1）。
2. 焼酎粕を給与した肥育牛の枝肉成績は無添加の場合と比較して大きな差は認められず、枝肉販売額は同等である（表2、3）。
3. 全肥育期間を通じ焼酎粕を30%添加することで、肥育牛1頭あたり約1.7tの焼酎粕が給与可能である。また、給与飼料費が約11%低減することにより、肥育差益が1頭あたり18,000円程度増加する（表3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 乳用種去勢牛に対して麦焼酎粕（液）を給与する場合の参考資料として活用できる。
2. 本試験に使用した麦焼酎粕液は、減圧蒸留した麦焼酎の残さ（液）を高温処理したものであり、その成分値は、DM:9.6%、TDN:66.2%、CP:40.4%である。

[具体的データ]

表 1 発育成績(平成12年)

給与割合	体重(kg)				日増体量(kg/日)				乾物摂取量(kg/日)			
	8月	12月	16月	21月	前期	中期	後期	通算	前期	中期	後期	通算
0%	282	445	575	743	1.51	1.10	1.01	1.18	10.2	10.6	10.5	10.4
15%	278	431	534	704	1.37	0.92	1.03	1.09	10.1	9.6	9.7	9.8
30%	276	427	551	722	1.35	1.11	1.03	1.14	9.9	9.8	9.7	9.8

- 注) 1. 焼酎粕は全期間を通じて給与し、約21カ月齢(前期8~11、中期12~15、後期16~21カ月齢)で出荷した。
 2. 供試牛頭数は0%区3頭、15%区5頭、30%区5頭とした。
 3. 給与割合は混合飼料中の焼酎粕混合割合(現物重量)を示す。

表 2 枝肉成績(平成12年)

給与割合	枝肉	枝肉	ロース	ばらの	皮下	BMS	脂肪交	BCS	BFS	肉締	枝肉
	重量	歩留	芯面積	厚さ	脂肪厚	No.	雑等級	No.	No.	等級	単価
	kg	%	cm ²	cm	cm						円/kg
0%	430.5	58.0	42.3	5.3	1.9	3.0	3.0	4.0	3.0	2.7	890
15%	402.0	57.1	41.6	5.4	1.8	2.8	2.6	3.6	3.0	2.4	948
30%	420.2	58.2	42.6	5.5	1.7	2.8	2.6	4.6	3.0	2.2	909

- 注) BMSNo. は牛脂肪交雑基準値、BCSNo. は牛肉色基準値、BFSNo. は牛脂肪色基準値を示す。

表 3 焼酎粕給与量および肥育差益(平成12年)

給与割合	焼酎粕	混合飼料	素畜費	摂取飼料費	枝肉販売額	肥育差益
	給与量	単価				
	kg/頭	円/DMkg	円/頭	円/頭	円/頭	円/頭
0%	-	38.7	78,750	156,286	398,607	163,571
15%	880	37.5	78,750	142,787	398,697	177,160
30%	1,744	36.6	78,750	138,547	398,877	181,580

- 注) 1. 飼料単価(円/kg): 稲ワラ: 55.7、アルファミール: 38.2、大麦圧扁: 34.7
 トウモロコシ圧扁: 25.5、一般フスマ: 23.9、専管フスマ: 27.5、大豆粕:
 52.8、炭酸カルシウム: 79.8、焼酎粕: 0
 2. 肥育差益 = 枝肉販売額 - 素畜費 - 摂取飼料費の実費による。

[その他]

研究課題名: 焼酎粕を活用した良質肉安定生産のための混合飼料給与技術
 予算区分: 経常
 研究期間: 平成12年度(平成10~12年)
 研究担当者: 平嶋善典、稲田 淳、古賀鉄也、磯崎良寛
 発表論文等: 平成12年度畜産関係試験成績書